

令和5年度第5回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和5年8月23日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 副院長）

大野 元（岐阜県産婦人科医会 理事）

石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）

オブザーバー : 臼井 啓介（岐阜市保健所 感染症対策課）

事 務 局 : 八代 英彦（感染症対策推進課 管理監）

汲田 淳（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）

可知 正行（感染症対策推進課 主任技師）

今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：加藤委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供（月番委員専門分野から）
- (4) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○新型コロナウイルス感染症に関する住民への注意喚起等の目安について

- ・どの様な状況になった時にどのようなアラートを出すのか、その方針をまず明確にすることが重要だと考えます。
- ・感染拡大防止への協力を住民に対して呼び掛ける想定であれば、流行初期の段階でアラートを出すのが効果的ではないでしょうか。

○RSウイルス感染症及びヘルパンギーナの流行について（継続）

（事務局から）

- ・県全体として両感染症とも収束に向かう傾向にありますが、まだ注意が必要な状況と考えています。

（委員から）

- ・感染拡大を防ぐため必要な場合は、行政機関として迅速に検査することが重要だと思います。